

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 30 年 2 月 19 日
主管学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
P T A 会長名	藤田 百香里

実施概要	主管校	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
	交流校	愛媛大学教育学部附属幼稚園 愛媛大学附属高校
	実施活動名	交流及び共同学習
	実施日時	平成 29 年度 年間
	実施場所	愛媛大学教育学部附属幼稚園 愛媛大学教育学部附属特別支援学校 愛媛大学附属高校
	実施目的	園児や児童生徒、保護者が、特別支援学校児童生徒との交流活動を通して、同じ附属学校園として、互いに理解し、親しみの気持ちを育み、共に活動する喜びを感じる。
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校祭への参加・交流・販売活動 ○ 幼稚園児や高校生との交流及び共同学習（花の栽培活動・環境整備・買い物学習やゲームコーナーへの招待、交流学习） ○ 附属幼稚園での秋祭り参加
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 附属高校学校祭において、喫茶コーナーを開店する。また、交流学习を行う。 ○ 附属幼稚園児と附属特別支援学校生徒と一緒に花の栽培活動を行い、幼稚園の環境整備を行う。 ○ 附属幼稚園児に対して花の買い物に訪れる機会を設けたり、中学部生徒が企画したゲームコーナーに招待したりする。小学部児童が、附属幼稚園で行う秋祭りに参加し、共に楽しむ場を設ける。 	
参加人数	合計 200 名	

報告事項	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 附属高校学校祭での喫茶コーナーの開店・交流学习 ○ 附属幼稚園児の買い物学習の場の提供とゲームコーナーへの招待 ○ 附属幼稚園児と一緒に花の栽培活動と幼稚園の環境整備 ○ 附属幼稚園での秋祭り参加
	結果	<p><愛媛大学附属高校との交流及び共同学習></p> <p>○ 5月30日、附属高校の生徒が特別支援学校に来て交流を行った。この日は、特別支援学校で行っている作業学習に附属高校の生徒が加わった。特別支援学校の生徒は、各作業学習で学んだ技能を附属高校の生徒に伝えた。コミュニケーションをとりながら学び合う姿が随所に見られた交流の時間であった。また、両校の学校祭で喫茶コーナーを開店している。「おでカフェ（喫茶）」の実施は、今年で4年目を迎える。今年も就労継続支援A型事業所の担当者の方に来ていただき、接客の仕方を学んだ。9月26日は附属高校の学校祭で附属高校の生徒と一緒に喫茶を開店させ、11月3日は特別支援学校の文化祭で開店した。両校の生徒が力を合わせておもてなしの気持ちで接客している様子は、訪れた方から好評であった。</p> <p><愛媛大学教育学部附属幼稚園との交流及び共同学習></p> <p>○ 附属特別支援学校の園芸作業班が育てたいろいろな花や野菜の苗を販売するコーナーとして「おはなやさん」を開店した。お客さんは附属幼稚園の園児である。園児はお金を持って、お兄さんやお姉さんが育てた苗を買いに来る。買うものを選ぶときも、購入したときも、生徒と園児の会話や交流を大切にしている。真剣に苗を選んでいる園児、どきどきしながらお金を出している園児、花の種類を優しく説明している生徒、大きな声で「ありがとうございました」とお礼を言う生徒。買い物を楽しんだり、自分の役割をしっかりと果たしたりと、両者にとっていい時間であった。</p>



○ また、中学部生徒が各学年で企画・準備したゲームコーナーに園児を招いた。保護者にも案内を出し、その様子を見ていただいた。中学部生徒は、園児が楽しんでゲームができるようにいろいろなアイデアを出し合い、景品も用意した。どんなゲームができるのかワクワクしながら教室にやってきた園児は、中学部生徒の進行に応じてゲームを楽しんだ。ゲームのやり方を一生懸命に聞いて、高得点を出そうとがんばっている園児に、中学部生徒や他の園児が元気に声援をおくっている姿が見られた。もらった景品を見せ合ったり、「楽しかったね。」と話したりする姿は、生徒にとっても自分に自信をもち、活動に満足感を味わうことができる一場面である。この取組みは2年目であるが、園児が楽しみにしている学習となり、昨年度より、多くの園児が来校して楽しんだ。



○ 附属幼稚園を花で飾ろうと、園芸作業班が育てた苗を利用して、特別支援学校中学部の生徒が幼稚園児と一緒に花の苗を植えた。この活動も2年目である。昨年度の花が、幼稚園を長い期間彩った



ことから、園児とその保護者、教職員にも好評で、今年度も依頼された活動である。中学部生徒は花の植え方を園児に教え、園児は小さな手で苗をいためないように優しくプランターに植え、たくさんのプランターができあがった。生徒と園児が力を合わせて植えた花が、幼稚園をきれいに彩る春が楽しみである。今年度は、学校周辺の方にもこのような活動を知ってもらい、花を少しでも楽しんでもらえたらという気持ちで、近隣にある郵便局にプランターを設置していただいた。

○ 小学部児童が、附属幼稚園で行われる秋祭りに毎年参加している。一緒に御輿を担いだり、祭りの曲に合わせて一緒に踊ったりして、秋祭りを楽しんだ。保護者の参加も多く、みんなで秋祭りを盛り上げることができた。



所感

このプロジェクトを受けて2年目になるが、交流及び共同学習の充実を図ったり、新たな共生の場の広がりを模索したりする有効な機会となっている。愛媛大学では、教育学部附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校、愛媛大学附属高校の5校園が共通理念のもと、一体となった教育活動や教育研究を推進している。交流及び共同学習もその一環である。今回もこれまでの形を再検討し、より効果的な共生の姿を求め、活動を広げていった。今後も「共に生きる姿」の獲得を目指し、継続した交流活動を行うことで共生社会の形成を目指していきたい。また、地域で存在価値を示すことのできる子どもたちを育てるためにも、このような活動を地域に広げていくことができればと考えている。

添付書類

感想・収支決算書等

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月19日
学校名	愛媛大学教育学部附属特別支援学校
学年	全学年

<小学部児童の感想>

- 幼稚園の友達と秋祭りをしました。楽しかったです。
- みんなで大きな声を出しながら みこしを担ぎました。
- 玉入れなどのゲームを一緒にしました。また、行きたいです。
- お祭りは楽しかったです。

<中学部生徒の感想>

- 幼稚園のみんながうれしそうにしていたので、やる気が出ました。
- クラスのみんなと協力して、ゲームを考えたり作ったりしました。楽しいゲームができたと思います。
- 役割を果たして、幼稚園の友達のことを思って、ゲームを進行しました。みんな喜んでくれました。
- 景品を作りました。いい景品ができたと思います。幼稚園の友達が笑顔で見せ合いをしていてうれしかったです。
- 花の植え方を教えて、一緒に植えました。幼稚園の友達も、上手に植えていました。
- きれいにプランターに花を植えることができました。きれいに咲く日が楽しみです。
- みんなで花を植えました。幼稚園で春にきれいに咲くと思います。

<高等部生徒の感想>

- 附属高校の人たちが、今日学校に来てくれました。一緒に作業学習をしました。クリーン班では、きれいに掃除ができました。
- 附属特別支援学校の学習に附属高校の人が参加しました。一緒に布工の作業をしました。素敵な製品がたくさんできました。一緒に学習すると楽しいです。
- 「おでカフェ」を一緒にしました。お互いに声を掛け合ってお客さんに対応しました。たくさんのお客さんが来てくれ、うまくできたと思います。
- 附属高校の学校祭で「おでカフェ」をしました。それまでに練習を何度も繰り返し、自信をもって接客をしました。来た人たちがみんな喜んでくれて、がんばってよかったと思いました。

カンガルーシップ活動

共生プロジェクト参加感想

提出日 平成30年2月19日

学校名 愛媛大学教育学部附属特別支援学校

- 「おでカフェ」で、自分の子どもが活躍している姿を見て、こんなこともできるのかと驚きました。親はドキドキしながら見ていますが、子どもは堂々としたものです。もっと子どもの可能性を信じていくことが大切だと感じました。
- 高等部では、同じ年代の生徒との交流を大切にしてくれています。附属高校、県立高校との交流は、機会があるごとに実施されているので、回数を重ねるごとに交流が楽しくなっているようです。交流の機会の大切さを感じています。
- 「おでカフェ」では、附属高校の生徒と一緒にやりましたが、笑顔でコンタクトを取りながらやっている姿を見てほほえましく思いました。社会に出たら、いろいろな方と関わりながら生活していくことになりますので、こういう機会は大切だと感じています。学校祭では多くの方が訪れるので、子どもたちのがんばりを、いろいろな方にも見てもらいたい機会だと思えます。
- 幼稚園の園児さんを相手に、しっかりと説明をしたり、小さなトラブルにも対応したりする姿を見て、頼もしく感じました。毎年、繰り返してこのような活動をしていることで、子どもたちも見通しをもってどのようにすればいいか安心して取り組むことができるようになっていきますし、ゲーム内容も年々バージョンアップしていると感じています。
- 同じ敷地内にある附属のよさを生かして他校園の人たちと交流することは、大変意義深いことと思えます。
- 家庭でも、幼稚園さんと一緒に楽しんだことを話してくれます。自信をもってできた、活動に充実感を味わえたからこそその笑顔だと感じています。家庭でも学校の話をするが増えているのは、うれしいことです。
- 花の苗植えで、園児に教えている様子を見ると、特別支援学校の生徒さんの大きな力を感じます。学校祭で生徒さんたちが販売している製品を見てもとてもすばらしいものばかりですし、大きな声を出して販売している様子を見ても本当にがんばっているなと感じています。